

研究機関名：小樽市立病院

承認番号	
課題名	胃癌に対する胃切除症例における術前骨密度低下およびサルコペニアの意義
研究期間	西暦日（実施許可日） ～ 2028 年 3 月 31 日
研究の対象	2020年1月から2025年12月までの間に小樽市立病院 外科に通院または入院し、胃切除を受けたもの。
利用する試料・情報の種類	☒ 診療情報（詳細：年齢、性別、画像所見、血液検査結果、手術情報、病理検査結果 等） ☐ 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） ☐ 血液 ☐ その他（ ）
試料・情報の管理について責任を有する者	小樽市立病院 院長 越前谷 勇人
研究の意義、目的	本研究では、胃癌に対して胃切除術を施行した患者を対象に、術前 CT から評価した骨密度低下（Low bone density: LBD）およびサルコペニアの頻度、臨床病理学的因子との関連、術後短期成績および長期予後への影響を検討します。さらに、両者の併存が術後合併症、在院期間、OS および DFS に及ぼす影響を評価します。これにより、胃癌患者の栄養・身体的予備能を包括的に評価し、術前 CT を活用したリスク層別化や個別化された周術期管理につながる知見を得ることを目的とします。
研究の方法	期間中に当院で施行した胃癌に対する胃切除症例の採血結果や病理結果などの臨床病理学的背景を術前 CT 検査を用いた骨密度や筋肉量を指標にしてそれぞれ 2 群に分けて比較し、さらにその生存、再発およびその期間を比較します。
その他	特記事項なし
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：研究責任者 所在地；小樽市若松 1 丁目 1 番 1 号 電話番号；0134-25-1211 研究責任者：小樽市立病院 外科 島田 慎吾